

## 平成21年12月期 第1四半期決算短信

平成21年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 バリューコマース株式会社

コード番号 2491 URL <http://www.valuecommerce.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) ブライアン ネルソン

問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者

(氏名) 高橋 敬一

TEL 03-4590-3600

四半期報告書提出予定日 平成21年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年12月期第1四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第1四半期	1,646	—	59	—	49	—	68	—
20年12月期第1四半期	1,706	34.3	62	626.5	41	210.6	40	135.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第1四半期	359.62	355.88
20年12月期第1四半期	214.93	213.82

(参考)持分法投資損益 21年12月期第1四半期 △11百万円 20年12月期第1四半期 △14百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第1四半期	4,936	3,714	75.2	19,550.13
20年12月期	4,903	3,646	74.4	19,193.44

(参考)自己資本 21年12月期第1四半期 3,714百万円 20年12月期 3,646百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年12月期	—				
21年12月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,100	—	70	—	50	—	55	—	289.46
通期	5,890	△13.2	150	2.6	130	38.5	55	—	289.50

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第1四半期	190,020株	20年12月期	190,000株
② 期末自己株式数	21年12月期第1四半期	14株	20年12月期	14株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年12月期第1四半期	189,994株	20年12月期第1四半期	189,133株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成21年2月10日に公表いたしました業績予想は、第2四半期累計期間について本資料において修正しております。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

前年同期比及び前年同期の金額は参考として記載しております。

当第1四半期連結会計期間における我が国の経済は、企業収益は極めて大幅に減少しており、また、個人消費は緩やかに減少しているなど、景気は急速な悪化が続いており、厳しい状況にありました。

一方、当社グループを取り巻くインターネットビジネス環境は、インターネット利用者の伸び率は逡減しつつあるものの、動画視聴などが増加し、総利用時間が伸びるといった質的な変化が見られ、インターネットは日常生活に欠かせないメディアとなっております。当社が事業を展開するインターネット広告市場は、平成20年度は901億円、平成21年度は1,103億円と予測されており（平成20年1月25日発行 矢野経済研究所「2008年度版アフィリエイトサービス市場白書」）、特にモバイルインターネットを中心に今後も引き続き拡大が予測されております。

このような経営環境の中、当社グループは、アフィリエイトマーケティングサービスを主力とし、検索エンジンマーケティング（SEM）サービスも含めたパフォーマンスマーケティング事業を展開し、サービスの充実・拡大を推し進めて参りました。

アフィリエイトマーケティングサービスにつきましては、継続的に新機能の開発を進め、顧客へのサービス向上に努めております。主なものとしては、平成20年12月にリリースいたしました「Myガジェット」が当第1四半期連結会計期間に本格的にスタートいたしました。「Myガジェット」は登録されている商品データから商品のバナーを容易に作成できるサービスであり、アフィリエイトの初心者層の取り込みも期待されます。

当社グループの当第1四半期連結会計期間の売上高は、当社のその他の関係会社であるヤフー株式会社との協業が進展するなどした結果、1,646,902千円（前年同期比3.5%減）となりました。営業利益については、引き続き経費抑制に取り組んだ結果、59,004千円（前年同期比5.6%減）となりました。経常利益は、持分法適用関連会社の株式会社ジェーピーツーワンに係るのれん代償却相当額を持分法による投資損失として営業外費用にて計上するなどした結果、49,991千円（前年同期比21.6%増）となりました。四半期純利益については、平成21年2月5日開催の当社取締役会で解散及び清算を決議し、平成20年12月期決算に計上した子会社のSozon株式会社の清算に係る子会社整理損の一部の戻りを子会社整理損戻入額として特別利益に計上するなどした結果、68,326千円（前年同期比68.1%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて21,423千円増加し3,918,623千円となりました。これは、主に現金及び預金が51,398千円増加し、売掛金が20,347千円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12,358千円増加し1,018,346千円となりました。これは、主にソフトウェアが27,633千円、工具、器具及び備品が13,475千円それぞれ減少し、ソフトウェア仮勘定が48,581千円増加したことによるものです。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて27,875千円減少し1,035,884千円となりました。これは、主に未払金が18,509千円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6,500千円減少し186,442千円となりました。これは、長期預り保証金が6,500千円減少したことによるものです。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて68,157千円増加し3,714,642千円となりました。これは、主に利益剰余金が68,326千円増加したことによるものです。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ51,398千円増加し、2,885,533千円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は97,705千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が66,933千円となり、減価償却費が40,615千円発生し、売上債権が18,782千円減少した一方、子会社整理損戻入額が19,846千円発生し、未払金が21,580千円減少したためであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は46,461千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が48,581千円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は100千円となりました。これは新株予約権の権利行使に伴う株式の発行による収入が100千円あったためであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年12月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成21年2月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成21年5月11日公表の「平成21年12月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する税務上の加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ②リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理方法によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

リース取引開始日が当該会計基準等の適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,885,533	2,834,135
売掛金	959,278	979,625
繰延税金資産	10,915	10,954
その他	71,276	86,074
貸倒引当金	△8,380	△13,589
流動資産合計	3,918,623	3,897,199
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	74,799	77,303
工具、器具及び備品(純額)	95,913	109,388
有形固定資産合計	170,712	186,692
無形固定資産		
ソフトウェア	130,688	158,322
ソフトウェア仮勘定	154,065	105,483
その他	1,172	1,172
無形固定資産合計	285,926	264,978
投資その他の資産		
投資有価証券	352,713	364,630
繰延税金資産	14,859	12,084
その他	198,661	180,565
貸倒引当金	△4,526	△2,962
投資その他の資産合計	561,707	554,317
固定資産合計	1,018,346	1,005,988
資産合計	4,936,969	4,903,187

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	600,521	610,490
未払金	175,659	194,168
未払法人税等	4,513	10,129
預り金	145,099	153,444
その他	110,091	95,526
流動負債合計	1,035,884	1,063,760
固定負債		
長期預り保証金	186,442	192,942
固定負債合計	186,442	192,942
負債合計	1,222,327	1,256,703
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,714,166	1,714,116
資本剰余金	1,069,698	1,069,648
利益剰余金	930,432	862,106
自己株式	△64	△64
株主資本合計	3,714,232	3,645,806
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	409	678
評価・換算差額等合計	409	678
純資産合計	3,714,642	3,646,484
負債純資産合計	4,936,969	4,903,187

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
売上高	1,646,902
売上原価	1,045,286
売上総利益	601,616
販売費及び一般管理費	542,611
営業利益	59,004
営業外収益	
受取利息	1,501
為替差益	1,811
パートナー報酬預り金精算収入	563
その他	47
営業外収益合計	3,924
営業外費用	
持分法による投資損失	11,917
その他	1,020
営業外費用合計	12,937
経常利益	49,991
特別利益	
子会社整理損戻入額	19,846
貸倒引当金戻入額	2,127
特別利益合計	21,974
特別損失	
減損損失	5,032
特別損失合計	5,032
税金等調整前四半期純利益	66,933
法人税、住民税及び事業税	1,344
法人税等調整額	△2,736
法人税等合計	△1,392
四半期純利益	68,326

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	66,933
減価償却費	40,615
減損損失	5,032
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,645
受取利息	△1,501
為替差損益 (△は益)	△277
持分法による投資損益 (△は益)	11,917
子会社整理損戻入額	△19,846
売上債権の増減額 (△は増加)	18,782
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,969
未払金の増減額 (△は減少)	△21,580
預り金の増減額 (△は減少)	△8,345
預り保証金の増減額 (△は減少)	△6,500
その他	28,783
小計	100,397
利息の受取額	1,213
法人税等の支払額	△3,905
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>97,705</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
無形固定資産の取得による支出	△48,581
貸付けによる支出	△1,261
貸付金の回収による収入	3,381
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△46,461</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	100
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>100</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	54
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>51,398</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,834,135
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>2,885,533</b>



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)

当社グループはアフィリエイトマーケティングサービスなどにより構成されるパフォーマンスマーケティング事業の単一セグメントであり、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)
	金額(千円)
I 売上高	1,706,315
II 売上原価	1,064,537
売上総利益	641,777
III 販売費及び一般管理費	579,295
営業利益	62,482
IV 営業外収益	4,714
受取利息	2,752
パートナー報酬預り金精算収入	582
その他	1,379
V 営業外費用	26,098
為替差損	11,350
株式交付費	62
持分法による投資損失	14,508
その他	177
経常利益	41,098
VI 特別利益	424
貸倒引当金戻入益	424
税金等調整前四半期純利益	41,522
法人税、住民税及び事業税	1,523
少数株主損失	651
四半期純利益	40,650

6. その他の情報

該当事項はありません。